

我々は、学生の部活動等における根拠・効果が不透明な活動停止に反対します。

※「部活動等」とは高校、中学、小学校、スポーツ少年団、体育の授業など、広く学生スポーツの社会体育学習活動全般を含んだ意味として使用します。

【趣旨】

コロナ感染症対策による部活動等の活動停止という行政指示により、多くの学生が教育・成長の機会を奪われています。また、活動停止をすることで得られる効果を、統計的・論理的根拠を元に明確に示されていないまま、いたずらに学習の機会損失が続いています。さらに効果の検証がされないことでこのような機会損失は今回だけでなく、第7波、第8波が起きた際にもこれから同様の機会損失が起きることが予測されます。学生という限られた期間における教育・成長の機会を一刻も早く取り戻すため以下の内容をお願いいたします。

【請願内容】

- ① まん延防止等重点措置などの適用下における学生の部活動等に限定した一律の活動停止に強く反対し、各活動において、感染症対策を行ったうえでの活動継続を求めます。
- ② 一律の学校・公共施設開放停止の制限を撤廃し、活動の有無は各団体において判断し、その活動への参加の有無は各家庭で行えるようにし、その判断を社会的に尊重することを求めます。
- ③ 今後、活動停止、施設利用停止等を指示するのであれば、今回及び過去の対策事例の効果を、統計的・社会的に検証し、その検証結果を明示したうえで、根拠ある明確な説明を求めます。

【請願根拠】

- ① 学校にける部活動等は、学校教育の一環であること。 →文部科学省ガイドライン参照
- ② 部活動等のみ限定して活動停止をしても学生同士の接触機会は変わらず、感染者数減少につながらないこと。 →効果の伴わない対策による学生の機会損失
- ③ 過去の部活動等におけるコロナ感染が、活動中の感染かどうか、十分な検証をすることなく部活動等要因と決めつけており、またその疫学的根拠も明確に示されていないこと。
- ④ 学生における機会損失は、行政によって何ら補填されることがないこと。
- ⑤ そもそも、「まん延防止等重点措置」は、医療ひっ迫対策、重傷者抑制などが目的のはずで、学生の活動抑止がその目的にどの程度関係あるのか、明示されていないこと。

【募集目安】

この署名は、令和4年2月末日をもって数をまとめて、一定数集まった場合、一度提出政治行政の場に提出したいと思います。期日以後も引き続き署名活動は続けます。以後同じことがないように、数をまとめ、提出しお願いいたします。提出後の政治行政の行動も、都度確認し、このWEB上で報告いたします。